

現在、在宅医療への期待が大きくなってきている。また「住み慣れたわが家で療養したい」「最期まで自宅で過ごしたい」という本人・家族の希望に応えるという意味でも、その充実が望まれる。

しかし、入院治療から在宅医療へ移行するにあたっては、さまざまなハードルがある。より円滑に移行するためには、病院からの情報提供および退院後の在宅療養チームとの連携の確認ができる「退院前カンファレンス」をもつことが必要となってくる。今回、数症例において退院前カンファレンスを実施し、その重要性を再認識したので報告したい。

事例① 86歳・男性

イレウスと閉塞性動脈硬化症で入院中。嚥下機能低下のため、経鼻栄養チューブ挿入のまま在宅療養をめざし、退院前カンファレンスを開いた。病院側は、チューブ管理に関して妻に指導済みとのこと、妻自身も「大丈夫です。1日も早く退院させてください」と話していた。しかし、在宅医療における経鼻栄養の管理は難しく、リスクが高い。ましてや高齢の妻が、充分に介護できるか不安な点もあった。また、カンファレンス中に時折のぞかせる、在宅介護に対する妻の不安定な感情を察知し、胃ろうを造設したうえで退院を提案した。ところが病院側は、早期退院をめざしている状況下で「胃ろう造設」という選択肢について患者

へ説明していなかった。また夫婦に身寄りがないとの理由で転院先が見つからなかったと言っていたが、在宅側の意見として、現状のままで在宅医療での受け入れは難しいことを主張した。

病院側は再検討し、結局、チューブ挿入のまま、転院となった。後日、妻に退院に向けての気持ちを聞くことができたのだが、「退院を迫られ、お世話になった

在宅医療における退院前カンファレンスの意義

前・医療法人弘善会矢木クリニック
看護師
林千晶

病院に対して、何も反論できなかった」ということであった。退院前カンファレンスをもつことにより、病院側の、在宅医療に向けての準備が不十分であったこと、患者・家族への対応のずさんさが露呈されたケースだった。

事例② 92歳・女性

脳梗塞後、胃ろうを造設されるが、誤嚥性肺炎で再入院を繰り返していた。在

宅診療開始後も、栄養剤注入後の嘔吐を繰り返し、誤嚥性肺炎で再度入院した。

退院前カンファレンスの提案もないまま退院したが、その当日に嘔吐による誤嚥性肺炎で再入院となった。繰り返す嘔吐の原因と対策についてディスカッションするため、次の退院に際しては、カンファレンスを開いてほしいと事前に病院側に依頼しておいたため、退院前カンファレンスをもつことができた。

入院中の精査により、嘔吐の原因が、胃がんによる幽門狭窄であることが判明した。高齢のため、積極的治療はしない方針で、CVポートからの高カロリー輸液を娘に指導しての退院であるが、胃がんの予後に関する家族への説明、輸液ポンプの導入の是非等、綿密に打ち合わせることにより、娘の安心も得られ、在宅介護の再スタートとなった。

事例③ 87歳・男性

妻のレスパイト目的で、ショートステイ利用中に、脱水症にて入院となった。元来のパーキンソン症候群も関連し、入院中にADLが著明に低下したという情報をケアマネジャーより入手した。そこで、病院側に退院前カンファレンスの開催を依頼したが、脱水症の改善が入院目的であり、症状が改善して退院するので、カンファレンスの必要性はないと、在宅医療に対して非協力的な返答であった。結局そのまま退院し、同日、自宅にて、

ケアマネジャーが中心となり在宅介護チームによるサービス担当者会議を開催した。しかし、入院中の嚥下状態やADL状況の情報があまりにも少なく、食事形態、服薬方法、日常生活での移動能力などが曖昧なまま、手探りでスタートとなった。他にも、介護者である妻の精神的な問題等、共にディスカッションすべき事柄が多かったこともあり、病院側の在宅医療に対する考え方に疑問を抱くケースであった。

最近では世間一般に、在宅医療に関する認識は浸透しつつある。一方、医療の現場では、病院側と在宅診療を担うクリニックとの間で温度差があることは否めない。在宅医療は、退院後から始まるのではなく、入院中にすでに始まっている。退院後に始まる長期の療養生活に対して、入院中の情報を共有し、より具体的な療養計画を退院前に検討することが重要である。それにより、患者・家族の不安や負担感を軽減するとともに、在宅生活を支えるクリニックとサービス事業所間での意思統一を図ることができると思われる。また、病院側のスタッフに、在宅医療の現場を理解していただくための重要な場でもあると言える。

今後、退院前カンファレンスを継続的にもつことにより、病院の医師・医療ソーシャルワーカーらと、お互いに顔の見える連携ができ、地域連携のネットワークが広がってゆくことを望みたい。

林千晶 (はやしちあき)

ベルランド看護助産専門学校

〒599-8247 大阪府堺市中区東山500-3 2026/10/02 13:36:16